

ようぼく一斉活動日 本部巡回



教区支部が力を寄せ合って ようぼく一人ひとりが 教祖のひながたを実践



土佐剛直 本部たすけ委員会委員

立教 186 年 6 月 2 日
於 教務支庁



第 589 号

発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
https://tenrikyohk.com



すべて喜び
すべておたすけ

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

北海道教区

6月2日、おぢばより土佐剛直(とさたけなお) 本部たすけ委員会委員にご来庁いただき、全道から主事、支部長、支部実務担当者、教区役職員が教務支庁に参集して、本年10月29日より3年間で5回開催される「ようぼく一斉活動日」の本部巡回を受けた。

奥村教区長は、「おぢばが行われ、直属系統でようぼくの方々の丹精が進められ、お互いは初めてのことだが、ようぼくの方々が教祖の思いにお応えしようとするのは、住んでいる地域なので支部活動が大事に思っている」と述べた。

この一斉活動日や、ひのきしんデー、にいがけデーと他の一斉活動日に、教区支部が力を寄せ合って、ようぼく一人ひとりが教祖のひながたを普段から実践できるように声を掛け合い、また励まし合うということに、この一斉活動日の意味を感じていただけたらと思います。ですから、この日一日ということではなくて、常にお互いが心を掛け合って、声を掛け合っ

て頂きたい」と挨拶。続いて土佐委員より「ようぼく一斉活動であります。年祭活動ということでもあり、ようぼく一人ひとりが、教祖年祭に向かう自覚を高め、それぞれが仕切つて成人の歩みを進める。これが年祭の一つの動きになってくる。」

2月まで本部巡教、先月まで全教会への一斉巡教



また、終了後には、実務担当者情報交換の場を設け、今後の計画や自主プログラムについての意見交換をし、支部の抱える懸案事項、地域性に応じた実状などについてねりあいを重ねた。

て教祖の年祭に向かって歩ませていただきたいと思います。引き続き開催要項に沿って、趣旨説明がされた。その後、質疑応答では、開催に向けての疑問点や不安な部分を土佐委員にお答えいただいた。最後に三幣事務局長より諸説明がなされ、本部巡回を終了した。

【会場】 全支部に会場が設けられます ※ 8 月に発表予定

【開催日】 第 1 回 2023 年 10 月 29 日 (全 5 回開催)

【参加御供】 300 円 (お子様同伴の場合、中学生以下は不要です)

【プログラム】

1. 開会挨拶
2. おつとめ
3. 諭達拝読 ※諭達をご持参ください
4. 教会本部からのビデオメッセージ
5. 会場ごとのプログラム
6. 閉会挨拶



さあ！
共に踏み出そう
教祖ひながたの道
ようぼく一斉活動日

教祖 140 年祭に向かう 3 年計画
同じ地域に住むようぼくが互いに励まし合い、携り合って
それぞれの教会や個人が実践した活動につなげよう。

第 1 回 立教 186 年 10/29(日)
年祭活動期間中に計 5 回開催
全支部に会場が設けられます
※ 8 月に発表予定

主催 天理教教会本部 / 発行元 天理教北海道教区

北海道教区のホームページ <https://tenrikyohk.com> で教区報がご覧頂けます

まなびば 学生会

6 月 3 日、4 日、紋別支部で「まなびば」を開催しました。

「まなびば」はグループワーク活動をメインとし、親睦を深めたり、教えの一端をお話頂いたりする、学生層育成行事です。毎年本部学生担当委員会にて考案されるプログラムを基に構成し、今回は「たすけあい」をテーマとさせていただきます。

1 日目は親睦を中心に置き、おつとめ練習や、暗中でルミカライトを使ったレクリエーションなどを行いました。

2 日目は朝のゴミ拾いひのきしんに始まり、プログラムでは班員同士の悩みごとを相談をしあつて、たすけあいの心を培い、スタッフに教理をお話いただいた。



紋別分教会前にて



グループワーク

て、陽気ぐらしに向かう大切なかどめを学びました。

参加学生は 5 名、内 1 名は未信者の方でしたが全員あまり緊張感を持たず、終始リラックスした様子で楽しんでいました。

今回受講してくれた学生の皆さんが感じたことや学んだことが、日々の生活の中で役に立ち、信心の一助となれば有難いと思います。(学担 高橋)

おぢばにて 北海道学生会交流行事

6 月 18 日、おぢばにて管内学校に通う北海道教区の学生を対象とした 2 度目の学生会交流行事を開催した。

事前には、学生担当委員長が寮まわりを行い、管内高校生と

直接会ってお誘いをしてきた。当日は、ゲームや自己紹介をした。本部学生会の行事でのきしんとおつとめに参加。また網走詰所にてレクリエーションとバーベキューで交流を深め、おぢばに北海道出身の仲間がたくさんいることを実感し、笑顔溢れる行事となった。



おぢばにて交流会

「網走詰所での BBQ でたくさん食べながら色んな話をして盛り上がり、最後は水風船を使って夏らしいゲームで大いに盛り上がりました。

参加したみんなが楽しそうで、笑いの絶えない楽しい空間でした。スタッフの準備が準備をしっかりとできていたからこそだと思いました。」と大阪から参加した境真理学生担当スタッフが所感を述べた。

3 支部隊合同訓練 災 救 隊

5 月 29 日、上川 (柴田正慶隊長)・旭川 (松下裕紀隊長)・富良野 (今井宏輔隊長) 3 支部隊による合同災救隊訓練を愛別町のアウルの森 (代表 橋本宗則 北愛分教会長) にて実施。17 名 (上川 5 名、旭川 8 名、富良野 4 名) の隊員が参加した。

チェーンソーの取り扱いを学び、安全に使用できるようにする事と、近隣地域の 3 支部合同で訓練を実施する事で横のつながりを強固にし、有事の際の連携を深め、各支部隊員がコミュニケーションを図る事を訓練目的とした。

結隊式では、三幣教区隊長挨拶を寺澤副隊長が代読。訓練では、講師に里山部代表の清水省吾さんをお招きし、チェーンソーの安全な取り扱いを学び、玉切り実践を行った。

玉切りは伐倒の技術にも応用できる高度な技術を学び実践して、講師による伐倒のデモンストレーションを見学し集材を行った。最後にチェーンソーのメンテナンスについて学び、刃の目立ての実践を行った。



取扱い講習後に実践練習を

実際の訓練では使用経験の有無に関係なく、講師の指導の下、皆が一致団結して真剣に取り組んだ。

昼食は生活班 (上川 5 名、旭川 2 名) が、有事を想定した炊き出し訓練を実施し、美味しい食事を提供。

受講隊員からは、「大変有意義な訓練で、毎年定期的な様々な訓練を実施して欲しい」、「近隣支部の方とコミュニケーションを取れたのが良かった」などの意見があった。

支部隊長は、「訓練で誰一人怪我することなく無事終了できた事を親神様・教祖に感謝申し上げます。来年以降も 3 支部合同で急事を想定した様々な訓練を実施していきたい」と、今後の意気込みを熱く語って頂いた。

雑感

— 小樽支部長 荒川善孝 —



はじめて教務支庁を訪れたのは、昭和35年9月の記念祭の時であった。その頃から昭和40年まで、札幌の大倉山シャンツェに近い荒井山で開かれていた天理教体育大会冬季大会に出かけ、競技に出たことは無かったが、豚汁をよばれたことだけは覚えている。体育大会は春季・夏季・冬季があり、冬季大会は二代真柱様がお出直しされた翌年の昭和43年まで、15回続けられた。第1回冬季大会は昭和29年1月13日に小樽市の小樽公園にて大々的に開催され、大会総裁の二代様と、ご来賓の高松宮様のご臨席下さった。お二方のご宿泊先の森邸の玄関前で撮られたお写真が、小樽天理教館の神殿に掲げられている。

自教会に戻った昭和51年の5月、教務支庁本館裏手の古住宅の解体ひのきしんに参加した。2日ばかりで行われ、初日の夕食後慰労をして下さり、薄野に繰り出して、一人200円を支給さ

れパチンコに興じた。それから安そうな居酒屋で、カラオケはまだ無かったが、皆で歌を存分に唄った。その時から50年近くが経過し、今、支部長会議に出席され



る方々の顔ぶれを見ると、いつのまにか自分が一番年頭になっていることに、はたと気が付いた。ほぼ50年間の諸行事、諸活動についてざっと振り返ってみる

と、全教一斉ひのきしんデーやにをいかけデーのように、今後もある一方で、冬季大会のように、15年で終了した行事もある。社会環境の変化により、消えていった行事は多いが、その時々で適した有効な行事であったと思われる。数え上げれば、何十にもなるに違いない。教区合唱団が発足して23年目になる。教区の合唱の灯を絶やしてはならないと、今も毎月続けている。本教の合唱活動は、昭和30年、天理教音楽研究会の設立とともに始まった。三代真柱様が、作曲の師である山田耕筰氏のご助言を頂かれて始められたと聞く。ちなみにキリスト教では旧教新教問わず、合唱が大きな役割を果たしている。イエスやパウロが、合唱を用いよと命じたわけではないだろう。そもそも宗教と文化活動は、密接な関係がある。北海道教区で「おうた演奏会」が開催されたのは平成13年である。「おうた」が北海道まで波及するのに40年を要した。まだまだ多くの教区が「おうた」とは無縁の状態にある。

各地の動き

●南空知支部

第2回支部交流会

南空知支部（中川俊章支部長）では、5月31日、栗山分教会で第2回支部交流会を開催。教会長夫妻、後継者夫妻と参加者を限定して感染対策を講じ、35名が参加した。よろづよ八首まなびに始まり、支部長挨拶、会務・会計報告などがあり、続いてのねりあいで、参加された方々から、今後の年祭活動や次回以降の支部交流会へのアイデア、どうしたら神様に喜んでいただけるかな等の様々な声を聞かせていただくことができた。



また、今年8月27日開催される教区婦人会主催の『27スマイルプロジェクト』、10月29日の『ようばく一斉活動日』の要項が併せて紹介された。

●函館支部

少年会 席書大会

函館支部（内田誠司支部長）では、5月28日、北稜分教会にて、支部少年会の席書大会を行いました。



担当者は「皆、一所懸命に書いてくれました。特に習字は練習することに上手になり、上達の早さに感動しました。」とコメント。

参加者は少年会員12名、育成会員6名でした。

作品は「みちの子作品展」に出展します。ぜひ見に来て下さい。

おやさとかかた南右第2棟にて7月26日13時～8月6日の展示を予定しています。

支部総会報告

●空知支部

空知支部(高橋洋治支部長)では、5月28日、新十津川分教会を会場に、奥村尚人教区長をお迎えして、支部総会を開催。92名(教会長24名、ようぼく43名、少年会19名、他6名)が参加。

高橋支部長による開会挨拶後、鳴物を入れてよろづよ八首を総立ちでつとめた。

奥村教区長の記念講話では、御自身の体験に基づく布教の大切さ、おつとめの理についてのお話をしてくださり、教祖年祭に向けての勇み心をいただいた。これを受け、支部長が年祭に向けての決意を述べた。

●天龍支部

天龍支部(松下敏孝支部長)では、6月4日に雨龍大教会を会場に4年ぶりの支部総会を開催。59名が参加した。

式典では、お願いづとめの後、よろづよ八首を総立ちでつとめ、奥村教区長のビデオ講話を視聴。続いて神殿内の窓拭きひのきしんを行った。

第2部の喜びの広場では、参加者全員ですき焼きを囲み、抽選会、チャリティーバザーと大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごした。

支部総会は、4年ぶりの開催で久しぶりに顔を合わす教友も多く、喜びに溢れた総会となった。



教祖 140 年祭に向かう三年千日。天龍支部に一人ひとり、一手一つに教祖ひながたの実践を誓い合って解散した。

新教会長さん紹介

(令和5年5月26日お運び)

小樽支部 丹元分教会(敷島) 奉告祭 6月11日



新井田 久枝 氏 85 歳

十勝支部 北吉野分教会(岐美) 奉告祭 7月16日



奥村 重幸 氏 83 歳

函館支部 北治分教会(敷島) 奉告祭 6月3日



佐藤 一貴 氏 35 歳

北海道教務支庁日誌抄

6月1日 青年会 Meetsi
2日 一手一つお願いづとめ 支部長会議

ようぼく一斉活動日本部巡回 土佐剛直たすけ委員来庁 地方委員会議

4日 札幌中南支部例会

7日 しらゆき会例会

10日 おうた合唱団練習

19日 会計部会議

21日 少年会会議

23日 教区長婦本

25日 ようぼく一斉活動日 説明会(本部)

26日 教区長会議

本部月次祭選拜式

27日 運営委員会

28日 主事会

29日 教区長婦庁

30日 布教部布教の家実行会

やまびこ会

教務支庁ふせこみひのきしん たすけ推進会議

立教一八六年・令和5年

計報

福井 正子様 4月19日出直(91歳) 徳儀分教会長 (釧根支部)

本田美年子様 4月25日出直(95歳) 岩内町分教会前会長夫人(俱知安支部)

澤田フミ子様 5月17日出直(91歳) 名美分教会長夫人 (宗合支部)

大山フテヨ様 5月20日出直(96歳) 網誠分教会前会長 (旭川支部)

竹田 松江様 6月2日出直(78歳) 辺別分教会前会長夫人(旭川支部)

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選拜式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。

また記事の投稿もよろしくお願い致します。

●ふせこみひのきしん 教務支庁にて毎月29日 ペランダの掃除 5月のふせこみひのきしんの様子 3階の窓ふきを